

ひろうら

茨城町立広浦小学校
学校だより
平成28年3月1日発行
第36号

学校評議員・学校関係評価委員会開催 よりよい学校をめざした学校評価をいただきました

学校は、児童の健やかな成長を目指して、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら学校教育活動を進めています。特に、学校教育目標の達成に向けて全教職員で取り組んでいます。これまでも保護者の皆様には、アンケート等でご意見をいただき誠にありがとうございました。

さて、2月5日（金）第2回学校関係者評価委員会を本校で開催し、学校側から今年1年間の教育活動に関する成果と課題を説明しました。その後、学校評議員や学校関係者評価委員の皆様から学校の教育活動に対するご意見や評価をいただきました。その評価をもとに、よりよい学校をめざして全職員で進めてまいります。保護者の皆様には、以下の学校自己評価や学校関係者評価等をご一読いただき、ご意見等がありましたら、学校（担当：教頭 白井）までお知らせください。

今年度の取組の概要

- 基礎・基本の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育み、児童が主体的に学び、分かる楽しさを味わえる授業づくりに努める。
- 健康でたくましく生活していく基礎となる学校体育・安全教育・健康教育の充実に努める。
- 学校経営や学年・学級経営、学校行事、その他の教育活動について積極的に情報を発信するとともに、保護者・地域の声を学校経営に生かし、保護者・地域から信頼される地域とともにある学校づくりに努める。

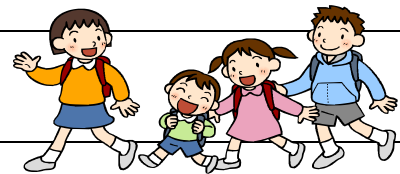
学校自己評価



今年度の成果と次年度に向けた改善方策

	自己評価のまとめ（取組状況・成果○と課題●）	次年度に向けた改善方策
学力の向上について	<p>施策①学び方及び基礎・基本の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科の校内研修や専門性を生かした指導、個を高める指導（広浦方式：国語、算数等で実施、個別指導、TT指導）、朝の音読・計算・復習タイム、「いいねノート」コーナーを充実させることで基礎基本の定着を図られるよう努めた。 <p>施策②学ぶ意欲を高め、児童が自主的に取り組むことができるように指導法の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「できた喜び」「分かる楽しさ」を味わえる授業（学び合い、問題解決的な学習、体験的な学習）や児童に付けたい力を明確にした授業の推進、「待つ」「預ける」「間による充実」を意識した授業の推進、職員相互授業参観、外部講師（茨城大学教育学部附属小学校教諭）を招聘しての校内研究協議会開催、授業構想検討会の実施、授業力ブラッシュアップ研修協力校や研究発表会への参加をし研修を重ねた。 <p>施策③家庭と協力した家庭学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の習慣化を推進に努めた。（家庭学習ノート、家庭学習の手引きの活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学ぶことができたり、児童相互の学び合いが生まれたりするような学習課題の吟味や教材の充実に努める。 ・復習タイムを設定し、定期的に定着の確認や補充指導を実施していく。 ・読書活動の推進や家庭学習の充実について、家庭との連携を図りながら、習慣の定着に向け、より一層の取組を進めていく。
豊かな心の育成について	<p>施策①基本的な生活習慣の定着と規範意識の高揚、公共マナーの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本一のあいさつ運動の推進、場に応じた言葉づかいの指導、「温かさ」と「厳しさ」をもった指導、「認める」「ほめる」「励ます」指導の充実に努めた。 <p>施策②心と夢を育む教育活動及び環境美化活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアによる読み聞かせの実施、「読書月間」「親子読書」「チャレンジ読書」「読書郵便」「朗読ライブ」等、読書活動の推進と図書室及び学級文庫の整備を図った。 ○道徳の授業や体験活動の工夫、異学年交流の推進、環境美化活動の充実、人権意識を高める教育の充実、キャリア教育の充実を図ることができた。 <p>施策③心の居場所となる学級・学校づくりを通して、児童の所属感、自己有用感の高揚と相手を尊重する態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもが主役となって活躍する特別活動、学校行事の充実、学級・学校環境の充実、確かな児童理解を進める生徒指導の充実、児童理解の充実を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気なあいさつを意識したり習慣にしたりすることができるよう、登校班班長による「あいさつ運動」の腕章を着用することや、昇降口等での朝のあいさつ運動を推進していく。 ・読書環境の整備（図書室の整備、読書月間等）を引き続き推進していく。 ・学校行事等のねらいを明確にし、子どもが主役となって活躍する学校行事、特別活動等の充実を図る。

	自己評価のまとめ（取組状況・成果○と課題●）	次年度に向けた改善方策
健康と体力の向上について	<p>施策①基礎体力と運動技能の向上 ○体育の授業の工夫改善と運動量の確保，運動の場の工夫，業間運動と外遊びの励行を図ったことにより，運動への関心・意欲の向上や体育的イベント参加者増加につながった。</p> <p>施策②安全指導の充実 ○「自分の命を守る」に主眼を置いた，「危険予測」「危険回避」の知識や判断力，行動力を高めた。</p> <p>施策③健康への意識と望ましい食習慣の形成 ○学校保健委員会の内容の工夫改善や「広小☆元気カード」の活用，「早寝早起き朝ご飯」「テレビを消して夕ご飯」「時間を決めてゲーム」の習慣化と啓発を図ることができた。</p> <p>●「テレビを消して夕ご飯」「ルールを決めてゲーム」のさらなる定着に向けた取組の充実が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 業間運動や外遊び，季節に応じた運動を計画的に設け，運動の機会の確保と共に，運動への興味関心を高めていく。 様々な場面を設定した計画的な避難訓練の実施に努める。 「時間を決めてゲーム」の実施方法等について，さらに成果が上がるよう，児童の委員会活動や学校保健委員会等と連携し工夫改善をしていく。
保護者地域との連携	<p>施策①地域人材や関係団体の積極的な活用 ○保護者や地域住民・関係機関との連携を密にしながら，学習指導の充実や安全の確保に努めてきた。</p> <p>○学校評価や教員評価を活用した学校教育目標の達成に努めた。</p> <p>施策②教育活動の積極的な公開 ○各種たよりにより情報発信を心がけた。（校長室だより，学校だより，学級だより，保健室だより，ホームページの更新等）</p> <p>○フリー参観日を開催した。（道徳，外国語活動，教科担任による授業等の公開）</p>	<ul style="list-style-type: none"> さらに，保護者や地域の声に耳を傾け，学校と家庭と地域が連携した取組を進めていく。 学校安全ボランティアや関係機関との連携を深め，さらに安全安心な学校づくりに向けて協力体制を整えていく。



保護者や地域の皆様へ

<家庭学習の充実について>

アンケートの結果から，家庭学習については，定着していることがうかがえます。しかし，その取組の様子や学習内容については，「学校から出された宿題だけ」「学習時間がとても短い」「ながら学習」「テレビやゲームの時間が多い」等，まだ十分とはいえません。そこで，家庭学習の進め方や内容等についてわかりやすくまとめた「家庭学習の手引」を有効活用し，学校と家庭が連携して家庭学習の充実に向けて，より一層の取り組みを進めてまいりたいと思いますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

<読書活動の推進について>

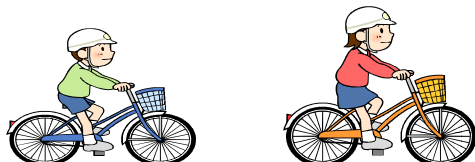
学校では，豊かな情操や文章を読み取る力等をつけるために読書活動を推進しています。児童は，朝の読書の時間や週末等に読書活動を進めています。また，県の事業「みんなにすすめたい1冊の本推進事業」等に取り組んだり，11月には読書月間を設定して「親子読書」「読書郵便」「読書集会」などを実施したり，町の「図書館支援事業」を活用して図書室の環境を整えたりするなど，読書活動を推進してまいりました。これらの取組によって児童の読書量は確実に増えてきています。引き続き，ご家庭でも，家族そろっての読書を推進していただけることをお願いいたします。

<「早寝早起き朝ご飯」「テレビを消して夕ご飯」「ルールを決めてゲーム」の推進について>

学校では，保護者の皆様にご協力をいただき，この運動を推進しています。この運動は，健康への意識の高揚や望ましい食習慣の形成，家族の団らんの時間の確保等を図るために実施しています。再度，ご家庭でもお話し合いいただき取り組んでいただきますようお願いいたします。

<地域や家庭との連携について>

- 保護者や地域の皆様には，運動会や花苗の仮植・定植，親子三代奉仕作業，涸沼浄化キャンペーン歩く会，しいの木まつり，PTA奉仕作業等でご協力いただき，誠にありがとうございました。皆様のおかげで，教育環境も整備されています。
- 児童の登下校の安全確保や学校行事への参加協力等大変お世話になりました。欠席者がほとんどなく，児童は，学校に来ることを楽しみにしています。また，大きなけが等もなく，学校生活を送ることができています。引き続き，安全ボランティアや学習支援ボランティア，学校行事等へのご協力をお願いいたします。
- 児童の安全確保に向け，不審者対応として「一人で外出しない」，交通安全対応として「ヘルメット着用」を重点課題として指導しています。皆様のご理解，ご協力をお願いいたします。



学校関係者評価

1 学校関係者評価委員会の総評

(1) 本校の目標と重点的な取組について

- ・本校の目標は、児童や地域の実態や願いに基づき、児童の健全育成を目指して考えられている。その目標の具現化に向けて、特に、児童が「主役」となって生き生きと学び活動する学校教育の充実に重点を置いている点、児童の心の居場所となるような支持的雰囲気の中で意欲的な学級づくりや豊かで活力ある人間関係づくりを進めている点が良い。さらに、学校評価や教員評価を活用した教師の指導力の向上や教師集団の育成等に重点的に取り組んだりしているなどが適切であった。
- ・年度末に閉校を迎える本校であるが、「最後の1年」ではなく「最高の1年」「葵小学校につながる」をモットーに、職員の4つのプロジェクトチームを有機的、効率的に運用している。それにより学校教育目標が十分達成され、さらに、「温かい学校」の中で、職員が安心して職務に専念できているように感じる。校長先生を先頭に、職員全員が一致団結してしっかり取り組んでいる様子が伝わる。

(2) 成果と課題について

- ・少人数を生かした取組や具体的な方策をもとに、学び方や基礎基本の徹底がなされている。全国学力学習状況調査、学力診断のためのテストの結果もよく、取組のよさが感じられる。
- ・様々な体験活動を通して地域の教育力を活用した人間関係を構築するなど広く人と接する機会を与えていることが心の育成につながっている。
- ・非常に多岐にわたる項目を一つ一つ丁寧な分析をされているのがよく分かる。

(3) 改善・要望点について

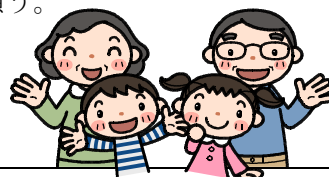
- ・これまでの取組を十分評価すると共に、引き続き、地域との結びつきや地域に根ざした学校運営に期待する。

(4) 本年度の自己評価の方法やアンケートの取り方等、学校評価そのものに対する要望

- ・評価項目を児童、教職員、家庭、さらに、全国学力学習状況調査のアンケートや諸テストの結果をもとに分析されていて、さらなる発展につながる分析になっている。
- ・ひとつひとつ丁寧かつしっかりとした評価がされている。

2 分野別評価

	学校の取組に関する評価と今後の改善点（評価○，改善点△）
学力の向上	<p>○先生方の日頃からの指導の積み重ねにより大きな成果が出ている。</p> <p>○少人数を生かした学習において、「授業が分かる」と答えている児童の割合が100%という結果は素晴らしい。</p> <p>○板書されていることがよい。児童が考えるための助けになっている。</p> <p>○学級、グループ、ペア、一人など、様々な学習の場面が使われている。「自分で考える」「友だちと考える」など児童に学ぶ力がついている。</p> <p>○友だちの話を聞くときの聞き方がよい。</p> <p>△大きな集団の中でも、児童が生き生きと学習する学び方を育成する。</p>
豊かな心の育成	<p>○あいさつがよくできている。「豊かな心の育成」に関するすべてのアンケート項目の結果も良い。</p> <p>○児童が元気にのびのびと育っている。</p> <p>△人にながされることなく、善悪の判断が自分でできる広浦の子を育成していく。</p>
健康と体力の向上	<p>○地域の体育的行事にも、多くの児童が積極的に参加していることは素晴らしい。</p> <p>○体力テストにおいてA+Bの児童の割合が83%は、大変高い。</p> <p>○2回の交通安全教室や各場面を想定した避難訓練等の実施により、児童の危険予知・危険回避能力の向上を図ることができている。さらに、毎日の下校指導により児童自身にも危険予測や対応策等が育っている。</p> <p>○やや劣っていた投力をアップするための「投力アップタイム」を実施したことや伸びを数字で児童に返していることがよい。</p> <p>△次年度、統合により、児童がよい意味での運動に関するライバルを見つけ、切磋琢磨できることを期待している。</p>
保護者地域との連携	<p>○学校だよりから学校教育目標の具現化に向けた取組や児童の育ちが見られた。</p> <p>○学校は、地域住民の願いをよく汲んでいる。</p> <p>○様々な場面での先生方の姿が、保護者、地域からの信頼につながっている。</p> <p>△次年度も、この地域で行事等が行われ交流できることを願う。</p>



学校評議員・学校関係者評価委員の方から、温かいことばをいただきました。

- この一年間は、教職員のみなさんにとっても特別な一年だったと思います。そのおかげでしょうか、子供達の成長の幅を、最も感じられた一年でした。広浦小学校は閉じる事になりましたが、その理念は継続してもち続けていきたいです。
- 先生方、本当にお疲れ様でした。広浦小が地域からなくなっても、地域の方や卒業生の心の中には永遠に息づき、広浦小のよさは語り継がれることと思います。ありがとうございました。感謝申し上げます。
- 校長先生を先頭に、先生方が一丸となって、子供、保護者、地域が、共に学校に愛着をもてる学校づくりに励んでいることがよく感じられます。最高の一年にしようという校長先生の思いが、先生方や子供の姿に表れていました。

最高のお褒めのことばをいただきました。ありがとうございました。このことばに甘んじることなく、閉校の日まで、児童が主役の温かい学校づくりに努めます。引き続き、ご支援くださいますようお願いいたします。
そして、葵小学校にしっかりと引き継いでまいります。



ひろうら

茨城町立広浦小学校
学校だより
平成28年3月8日発行
第37号

思いをかたちに



毎朝、音楽室から6年生の歌声が聞こえてきます。(左写真)

3学期がはじまって間もなくのころ、6年生の児童代表から次のような申し出がありました。「これまで広浦小の卒業式では、卒業生だけで歌う歌がありませんでしたが、わたしたちは気持ちを一つにして卒業生だけで歌う場面をつくりたい」という内容でした。代表児童は、話合いを重ねてきた11人の思いを、少し涙ぐみながら伝えてくれました。たくさんの曲の詩を1行1行を読み、自分たちの思いとつながる歌詞を吟味した6年生の思いもそこにはありました。思いがかたちになるうとしている毎朝の風景です。「もっと詩を大切にしよう」「このようにしたら…」と、さらに上をめざし、今朝も話合いがされていました。



お知らせ (葵小関係)

4月の主な行事予定

- 4日(月) 登校日 スクールバス登下校練習
学級発表と出会いの交流、校内見学
- 6日(水) 始業式、開校式典
- 7日(木) 入学式
- 15日(金) 授業参観、懇談会
- 23日(土) PTA総会
- 25日(月) 振替休業日
- 26, 27, 28, 5/2, 6 家庭訪問

※下校時刻につきましては、3月中に配布予定のバス運行表でご確認ください。その他、行時等の詳細につきましては、葵小から文書にてお知らせいたします。ご了承ください。

4/4 スクールバス登下校練習について

ねらい：①安全な登下校が円滑にできるようにする
②葵小児童の交流を図る

- ・後日配布になるスクールバス運行表時刻での登下校になります。
- ・葵小標準服・ヘルメット着用、ランドセル登校です。(※ランドセルを背負った状態でシートベルトを装着する練習もします)
- ・スクールバス登下校練習には、方面ごとに葵小職員が1名ずつ同乗します。
- ・登校時の乗車や下校時の下車箇所につきましては、児童の横断やバスの待機場所、走行など、安全面を考え、道のどちら側がよいのか等、保護者の方にも見ていただけますようお願いいたします。
- ・下校時刻は、葵小出発時刻10:00を予定しています。

ご案内

お別れの式について

例年であれば、年度末に「離任式」を行うところですが、今年度は閉校に伴い、現職員全員が本校から去ることになります。そこで、下記のとおり「お別れの式」を行いますのでお知らせいたします。

日時：平成28年3月24日(木)
午前9時20分から9時40分(予定)
場所：広浦小 体育館



☆修了式閉会後の開式になりますので、時間が多少前後することがございます。ご了承ください。お待ちいただく際は、昇降口ホールをご利用ください。

☆ご来校の際は、上靴をご持参ください。

☆職員の異動先につきましては、3/31本校掲示板に掲示し、お知らせいたします。

思いをかたちに

(問) 何の写真かわかりますか？



正解は、お弁当です。

(2/27撮影：鴨志田 遊央さんの弁当)

「広浦小 ありがとう」の文字と共に校章まで…。海苔をカッターや小さなハサミで切り抜いたとのことでした。お作りになったお母様ご自身も本校の卒業生。様々な思いがかたちになったのでしょうね。許可を得て、撮らせていただきました。



ひろうら

茨城町立広浦小学校
学校だより
平成28年3月23日発行
第38号(最終号)



卒業生の思いが詰まった
最高の卒業式

広浦小学校第38回卒業式 3月18日(金)

茨城町教育委員会委員長職務代理者 寺内拓男様、茨城町議会議員 亀山勝男様を始め、たくさんのご来賓の皆様のご臨席のもと、平成27年度茨城町立広浦小学校第38回卒業式が挙行されました。男子3名、女子8名計11名の卒業生が、この日、広浦小学校を巣立ちました。

「自分たちの思いをかたちに」「最高の卒業式に」という卒業生の思いが詰まった式になりました。卒業生の歌「友～旅立ちの時～」では、会場が感動・感涙に包まれました。また、「別れの言葉」では、卒業生と在校生が心を一つにして

呼びかけを行い、在校生から卒業生への感謝や祝福の言葉が贈られました。
11名の卒業生の輝く未来を、在校生・職員一同、願っております。



満開の桜のアーチに迎えられての卒業生入場



卒業証書授与

ご支援・ご協力をありがとうございました

桜のつぼみが少しふくらみ始めました。やわらかな春の日差しが、色とりどりのパンジーをさらに鮮やかに見せてくれています。

明日3/24(木)平成27年度修了式とお別れの式が行われ、子供達とこの一年間が終わります。

学校教育目標の『創造と感動』郷土を愛し自ら学び心豊かにたくましく生きる児童の育成をめざし、私たちは「子供を主体に前面に」を合言葉に教育活動を進めてまいりました。子供達は、特に多くの行事に向け準備を主体的に進め、当日の運営や発表等では、自信をもって活躍してくれました。目指す児童像「にこにこ」「いきいき」「わくわく」という子供達の姿がたくさん見られた一年でした。

これもひとえに保護者や地域の皆様のご支援・ご協力の賜と深く感謝いたしております。次年度は、新たな環境での生活がスタートします。子供達の健やかな成長を願い、引き続きお力添えをいただけますようお願いいたします。

3/26(土)PTA奉仕作業(引越や校舎内清掃作業)も、お世話になります。よろしく願いいたします。



花巻寿司を作りました
に、お世話になりました。川又さん
ブライトリーダーの
う、お話を聞きました。
れ、草や桜などおりに、ほ
のせ、巻きたいぶどを酢飯に
満足の花巻で巻いていくとき
れ、子供達の表情でした。